



ぎかいの窓

令和5年9月に行われた綾町議会の様子を覗いてみましょう…



イオンの森育樹活動にて

今号の目次

- 条例ほか P 1
- 補正予算 P 2 ~ 3
- 決算、諮問、請願、意見書 P 3 ~ 6
- 議決結果一覧 P 7
- 一般質問 P 8 ~ 12
- 議会活動 P 13 ~ 14

9月定例議会

討論

反 = 反対討論

賛 = 賛成討論

議案第43号

綾町避難行動要支援者名簿及び個別避難計画に関する条例

全員賛成
可決

避難行動要支援者名簿と個別避難計画を作成し、個人の権利を最大限考慮しつつ支援関係者への名簿情報等の提供を可能にする条例。

賛 (橋本) 提出を受けた名簿の適正管理は重要。情報漏洩の無きよう行政の指導を求める。

議案第44号

教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

全員賛成
可決

教育委員に中神克寿氏を任命することについて議会の同意を求めるもの。

賛 (橋本) 今後綾町での教育長や教育委員の公選制の導入を求める。

補正予算 討論

反 = 反対討論

賛 = 賛成討論

議案第45号

令和5年度綾町一般会計補正予算(第3号)

全員賛成
可決

賛 (興梠) 「おむつの負担軽減モデル事業(県補助事業)」についてそれ自体は評価できるが、特におむつ購入の補助が通園児のみ対象、それ以外は対象外で不公平感は否めない。今後の対応を望む。

賛 (橋本) グランドゴルフ場の草刈りは、公平に。おむつサブスク事業は、定期的に利用者・事業所の意見を聞き、柔軟な取り組みを。通学支援の予算は、高校の無い綾町として当然。通学手段を特定せず自転車通学や通信制高校生に対しても支援することは大事。

賛 (海江田)おむつサブスク事業補助金では、保育園児が対象であるが、別途補助事業を新設し、在宅の子どもにも拡充を求める。和牛繁殖 農家経営 安定対策基金負担金について、生産者が苦しい時こそ、支えあう対策を望む。

議案第46号

令和5年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

全員賛成
可決

議案第47号

令和5年度綾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

全員賛成
可決

議案第48号

令和5年度綾町介護保険特別会計補正予算(第2号)

全員賛成
可決

賛 (橋本)ケアマネージャーの事業所撤退は不安。町内ケアマネージャーの過重負担が想定される。待遇面からもケアマネージャーの資格が魅力ではなくなっているのではないか。そこへの手立ても必要。

議案第49号

令和5年度綾町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

全員賛成
可決

前年度繰越金の確定により、その繰越金と同額を歳出の予備費に計上。

議案第50号

令和5年度綾町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

全員賛成
可決

前年度繰越金の確定により、その繰越金と同額を歳出の予備費に計上。

賛 (中神) 令和4年度はコロナ禍に加えて物価高騰が町民生活を圧迫し、現在も同じ状況下にある。財政健全化に取り組まれ基金も増額されたことは評価するが、経営収支比率が高いのが課題である。また、住宅家賃などの未収も多額である。指摘課題事項に、より一層取り組むことを望む。

認定第2号

令和4年度綾町国民健康保険特別会計決算

医療費は前年度比1.2%減で、県内26市町村中24番目と低いが1人当たりの医療費は増加傾向。



認定第3号

令和4年度綾町後期高齢者医療特別会計決算

被保険者は前年度より42人増え、1人当たりの医療費は増加している。



認定第4号

令和4年度綾町介護保険特別会計決算

第8期事業の2年目。コロナウィルス感染拡大に伴う介護サービスの利用控えがあり、計画より低い運用となった。



認定第5号

令和4年度綾町農業集落排水事業特別会計決算

小田爪地区限定の公共下水道事業。加入数は前年度と同数。



認定第6号

令和4年度綾町公共下水道事業特別会計決算

加入戸数は公共施設の増減はなく、一般家庭では33戸増加。



認定第7号

令和4年度綾町浄化槽事業特別会計決算

浄化槽設置戸数は5人槽10基、7人槽3基の新設。



認定第8号

令和4年度綾町水道事業会計決算

収益的収支は、収入額が111,918千円に対し、支出額は102,853千円の黒字。

資本的収支は、収入額が150,738千円に対し、168,575千円の赤字。不足する7,837千円は、当年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金で補填。



諮 問

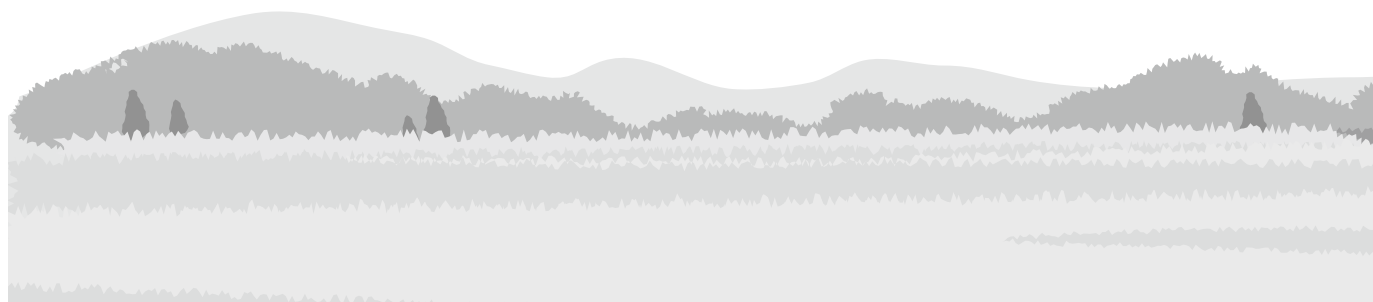
諮問第1号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて



今年12月で任期満了となる谷口秀典氏の後任として、宮原地区の小村久美子氏を推薦するべく、議会の意見を求めるもの。

任期 令和6年1月1日～令和8年12月31日



請 願

請願第1号

健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書



- 賛** (橋本) 現行の保険証で困ることは何もなくマイナンバーカードより安全で便利。マイナンバーカードはマイナポータルとして、納税状況、医療、年金などの保険料納付状況など29分野の膨大な個人情報及びも付けられている。来年秋の保険証廃止ありきをやめ、健康保険証を存続させるべき。
- 賛** (興梠) マイナンバーカードの取得はあくまで任意であるにもかかわらず、保険税を納めているのにサービスが受けられない事態が生じる矛盾を、政府が国民に押し付けることは言語道断。
- 反** (児玉) 健康保険証は、マイナンバーカードとの一体化に向けて、取り組みを行っている。様々な弊害が起きていることは認識しているし、国民に対しての説明が不十分ではあるが、デジタル化時代においてはやむを得ない。

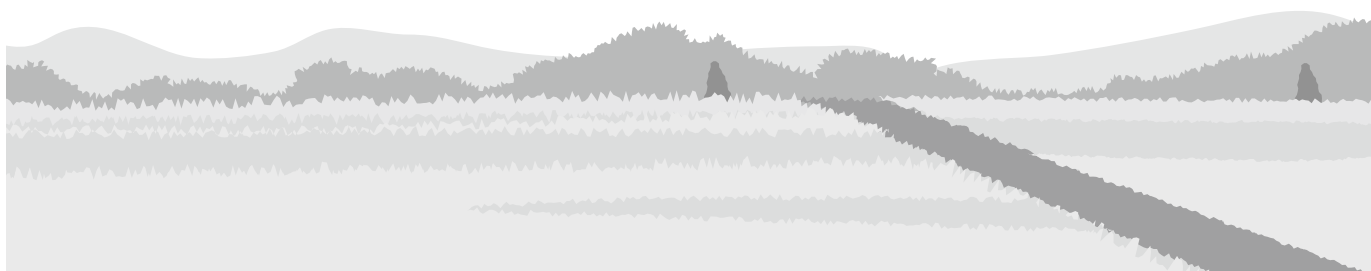
意見書

意見書案

健康保険証を廃止しないよう求める意見書



請願第1号採択により、政府に意見書を提出するための案件



9月定例議会：議決結果一覧表

賛成：○ 反対：● 討論有：※

区分	ページ	議案番号	審議結果	議案一覧	上野一八	中神智光	興柁智一	外山ひろ子	海江田和久	山田由美子	児玉信	日高幸一	橋本由里	討論
条例 人事 補正予算	1	43号	可決	綾町避難行動要支援者名簿及び個別避難計画に関する条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※
		44号	可決	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	表決								※	
	2	45号	可決	令和5年度綾町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※
		46号	可決	令和5年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	
		47号	可決	令和5年度綾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	
		48号	可決	令和5年度綾町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※
		49号	可決	令和5年度綾町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	
		50号	可決	令和5年度綾町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	
	3	51号	可決	令和5年度綾町浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	
		52号	可決	令和5年度綾町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	※
53号		可決	債権の取得について	○	○	○	-	○	○	○	○	○		
その他	認定第1号	可決	令和4年度綾町一般会計決算	○	○	○	-	○	○	○	○	-	※	
決算	4	認定第2号	可決	令和4年度綾町国民健康保険特別会計決算	○	○	○	-	○	○	○	○	-	
		認定第3号	可決	令和4年度綾町後期高齢者医療特別会計決算	○	○	○	-	○	○	○	○	-	
		認定第4号	可決	令和4年度綾町介護保険特別会計決算	○	○	○	-	○	○	○	○	-	
		認定第5号	可決	令和4年度綾町農業集落排水事業特別会計決算	○	○	○	-	○	○	○	○	-	
		認定第6号	可決	令和4年度綾町公共下水道事業特別会計決算	○	○	○	-	○	○	○	○	-	
		認定第7号	可決	令和4年度綾町浄化槽事業特別会計決算	○	○	○	-	○	○	○	○	-	
諮問	諮問第1号	可決	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	表決										
		可決	健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書	○	○	○	-	●	○	●	○	○	※	
意見書	6	第1号	採択	健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書	○	○	○	-	●	○	●	○	○	※
		意見書案	可決	健康保険証を廃止をしないよう求める意見書	○	○	○	-	●	○	●	○	○	

※外山議員は、9月定例議会は体調不良のため、採決は欠席でした。

町行政の基本的な考え方や問題点を議員が町長等に問いただす一般質問は5名が行いました。ご質問がある場合は各議員にご連絡ください。

議 = 議員 議長 = 議長 町 = 町長 副 = 副町長 教 = 教育長 課 = 課長



中神議員

町長に問う

特別職報酬審議委員会

議 いつから行われていないのか。町民の大半はどのようにして報酬額が決められているのか分からない。

町 新教育長制度移行後、平成28年12月19日の答申が直近の開催である。

議 委員を決めて審議会を開く考えは無いのか。

町 現時点ではない。ただ、報酬額改定については今後状況に応じ検討、判断していく。議員報酬、職員給与も26市町村の中では非常に下のほうだと認識はしている。

議 金額云々で言っているのではない。町民からの判断を仰ぎたいからだ。

町 何を基準に開催するのかを明確にしなければ、開く価値はない。

議 町民に開かれた町政の一步ではないのか。

町 極端に上げ下げの場合には当然開くべきと思うが、それ以外でやみくもに開くことが開かれた町政ではないと認識している。

議 私も町民の方々の意見を聞いてみる。

ハウスの資材高騰!!

議 若手、または更新時期に来ている農家からハウスの建て替えの要望がきている。



いまも現役の築45年のハウス

町 先般若手農家と懇談する機会があり、お聞きしたばかりである。

議 昨今の資材価格高騰により多額の資金を要する。

町 10aで本体価格1千万から1千7百万円であり、付帯設備をあわせるとすごい額になる。



議 産地パワーアップ、強い農業づくり事業など常に手を挙げていないと間に合わない。

町 農家の声を聞いた上でしっかりと対応していく。

議 新規就農者には手厚い支援はあるが、後継者には手薄感があるので考慮していただきたい。

中学生海外短期留学

議 第8次総合長期計画に国際交流の推進とある。以前シンガポール交流が行われていたが、今後再開の予定はないのか。

町 令和5年12月に、シンガポールの中学生を受け入れる話が県親善協会からきている。町としても6年度以降事業再開を検討している。ユネスコスクールやオーガニック給食を推進している学校同士の交流も考えている。また幅広い行き先を調査していく。

議 綾中学生以外で町内在住の私立、付属中学生も対象にしてほしい。

町 諸問題について確認して検討する。

綾川荘河川プール利用

議 町外に通う中学生には無料券の配布がない。

町 来年度から対応を検討する。

議 教育委員会と連携して対応をお願いする。



興梠議員

「町の未来は子育てから」

これからの財政

議 ふるさと納税が2008年に始まり15年の13億円から19年の3億円の財政調整基金も減少に。

町 財政調整基金等各基金は当初約9億円前後、19年には4億円台、22年度末では8億円台。主な要因は①20、21年度普通交付税増額②コロナ禍による不用額③経常経費の削減効果がある。各基金残高改善は評価するが内容は要検証。増減ではなく財政基盤の確立を。6月補正予算でもふるさと納税原資の固定経費が約2億円超。早急の事務事業の再編が必須。国県からの財源確保も。町民のために生きたお金を使うことが重要。

議 ふるさと納税大増減によって人件費他の経常経費の増大が一般財政を圧迫しているのでは。

町 概ね同意。是正されたが今後も精査。

議 財政調整基金は約5億円が妥当、その根拠は。

町 研修で2名の経済、行政学の専門家から聞いた。標準財政規模の2割が基本的な考え方。

議 町独自の短中長期含めた試算を行うべきでは。

町 町民に還元するのが大原則。

子育てにやさしい町づくりを

議 4月8日商工青年部主催の声を聞く会で、町長は兵庫県明石市を例に出した。徹底した事業人員整理から異次元の子育て支援を実行。

町 考え方は基本的に同意。バランスの取れた施策を。

議 HPを見てもどんな支援があるのかわかりにくい。

町 指示している。

「綾らしさ」とは

議 選挙では本物の綾を取り戻すと主張。今までは本物ではなかったのか。所信表明、なぜこの結論に至ったのか。

町 綾の原点、本物とは人を裏切らないこと。その精神が変化している懸念がある。何のための自治公民館制度なのか、なぜ照葉樹林を守ったのか。しっかりと伝えていく必要がある。

議 私の25年間の商工会、工芸コミュニティ等々の活動の中での結論は、森を守ったことが根幹。それによるまちづくりを。環境問題は過度の経済活動の結果。なぜそうなるのか考えるべき。

町 話が大きすぎる。郷田町長の思想が大事。

綾川荘奥座敷及び合宿センター今後の提案

議 具体的な計画は。

町 今年度は必要な修繕。近日中に指定管理者を公募予定。

議 母子保健法改正により子育て世代包括支援センターの設置、産後ケア事業の実施が全国市町村の努力義務に。整備費には補助あり。都市圏では、産前産後ケアのための長期滞在型ホテルが話題。綾川荘でリゾート型産前産後ケアサポートホテル機能を備えた助産院を開設しては。綾らしさで言えば自然分娩や母乳育児などを。町民の出産・子育て支援の拠点に。綾の野菜、ジビエ肉等安心安全な食事が提供でき、移住促進にも。収益事業によって人件費を確保。

町 検討する。

新型コロナワクチン接種後遺症に対するケア

議 今年4月4日時点で国内4億回超の接種。接種後の副反応、後遺症が3.6万件以上、死亡では約2千件の報告が。町内調査する予定は。

町 窓口は厚生労働省電話窓口相談及び県コロナワクチン副反応相談センター。町調査予定なし。綾町では現在2件が申請中。今後は綾町予防接種健康被害調査委員会で、委員の医師の書類確認後に県から国へ申請。結果が出るまで約1～1年半。

議 国の予防接種後健康被害救済制度、接種のリスク(特に子供)を様々な手段で情報提供を。

町 現状問題ない。

若手消防団員の募集

議 具体的な取組は。

町 直近では休団制度を導入。

議 例えば修学旅行費用を免除、減額などはどうか。団員、家族、あるいは中高校生にもアンケートを。

町 様々な協力支援を考えていく。

その他「ユネスコエコパークとしての綾町」の質問をしました。



橋本議員

「介護保険料が高い!」の声にどう応える

議 来年度は介護保険料見直し年(3年ごと)。制度開始から23年、利用率は15%弱。保険料は上がり続けている。綾町独自の保険料・利用料の軽減が必要。

町 「高い」認識は同じ。町は何ができるのか考える。次期は、低所得階層は軽減拡充、高階層は負担増、標準階層は多段階化を検討し年末に結論を出す。10年後20年後不安だが今以上の負担は避けたい。

議 綾町の保険料は県内4番目に高い。理由は何か。

町 宮崎市は有料老人ホーム数が人口比全国1位で町民が利用しやすいことも一因。

議 国の現状認識が不十分。根本的な改正が必要。認定15%未満でこの負担は深刻。

町 国会議員も含め話をしていきたい。

議 家事援助サービスの制限の理由を問う。

町 原則一人暮らしの高齢者。サービスも範囲の制限がある。個別の事情に町として何ができるか検討の必要はある。

議 保険料・利用料の町独自減免は。

町 基本は国と同じで、税や保険料は所得に応じた負担をしてもらう考えだ。

ごみカレンダー変更は高齢者いじめ

議 今回の変更は「年寄りへの意地悪か」との声がある。

町 就任後に知った。意地悪ではなく1枚に情報を盛り込みすぎた。9月に元に戻し、来年度分は改めて検討直す。

議 行政側が住民の立場に立つことが大事。それが住民に伝われば関係性は向上する。役場の改革を願う。

町 町民に思いを寄せる行政改革に努める。



暑すぎる夏 生活保護世帯へのエアコン設置を

議 猛暑で命の危険を感じる夏だった。生活保護受給世帯でのエアコン購入は厳しく制限されている。

町 8割が設置している。支給対象にならない世帯への資金貸付も紹介している。

議 購入金額も規制がある。未設置2割の世帯へ町の支援を。

議 未設置世帯の情報は得られない。

綾町に合った花の植栽を

議 令和4年度3カ所の花壇に800万円の予算。住民から多額すぎと抗議を受けた。「エコパークの町、有機農業の町にふさわしい花を」との提案があった。例えばレンゲソウやヒマワリだ。

町 何をどう植えるのか、苗はどうするのか今後検討していく。

議 レンゲソウが春の一時期町内に咲き乱れる光景は綾町に合う。

町 農業とどう絡めるのか、意見を集め検討する。

山の伐採が進む

議 町の中心から見える山が伐採され、心を痛める声がある。私有林でも、伐採後の管理に行政指導が必要。

町 私有林の伐採は、施業開始30日から90日前に伐採届け提出。受理後施設等への影響の有無を照会、保有林の有無、伐採後の利用計画、森林整備計画に基づく確認をし、経営林として有効な場合は植林を要請。伐採は届け出制。令和4年度実績は伐採件数43件の約25ヘクタール、再造林率73%。

議 植林するか否かは所有者の意向による。未植林は費用負担と植林後の管理負担が主な理由。転用目的の伐採もある。

議 森林組合伐採と民間伐採との違いはあるのか。

議 森林経営計画があり森林組合員であれば植林への補助金が出るため、森林組合伐採の方が植林率が高い。

町 伐採等が森林組合に集中し、植林に時間を要する事や民間業者からの不満もあり、バランスも考えていく必要がある。



外山議員

子どもを本気で応援すれば、まちは元気になる

議 タブレット、夏休み使用の成果は。

教 綾小では初めて(GIGAスクール3年目)3年生以上がタブレットを持ち帰り、1人1人の実態や課題に対応した学習ソフトに主体的に取り組み、議員指摘のソフトも自らの進度に合わせてローマ字入力の練習をした児童が多く、スキルアップに。漢字の書き順や運筆の向きまで学べるソフトも活用。夏休みの課題をタブレットで直接先生に質問、リアルタイムで解答可能。

議 随時回答は先生が大変。時間を決め、リモート授業で拘束時間を短くすべき。

給食アンケート結果と小学校の対応は

議 5時間授業が良い…42.4%、どちらでも…30.6%合計73%はほぼ満足の返答。残り27%の4時間授業が良い児童を尊重するのが教育では。児童が「中学卒業後すぐ就職すれば、早くご飯が食べられる」と母親に話し、母親も社会的には12時が昼食だと納得。

教 7月12日付で校長から保護者宛てに調査協力へのお礼と結果報告。大きな取り組みについては、定期的な検証をルーティン化する。

議 5年生の国語で、やなせたかし氏がなげアンパンマンを書いたかの話がある。戦争中弟を亡くし仕事もない。ある兄弟が肩を寄せ合い、1個のお握りを分け合う姿を見、人間お腹がすいては何もできない。お腹いっぱい幸せ。綾小でパン牛乳を2時間目の休み時間に配る事を提案。

綾小教師の夏休みの研修・スーパーティーチャーの活用

議 夏休みの研修は。

教 特別支援教育、さらに情報機器、データ活用技術が教師に求められる。今年の夏はふる里教育、ICT教育等を実施。

議 2019年7月末、県一斉の特別支援研修があり不参加は綾小だけ。2019年1月5時間授業をスタート。理由は研修等。実際には、夏休み中の研修さえ参加していない。本末転倒。

教 現職教員の報告を教育委員会が管理。スーパーティーチャーの活用として、他校在籍の先生の公開授業研修に積極的参加。

会計年度任用職員の採用方法、研修について

議 2020年4月の地方公務員法改正により導入された非常勤地方公務員。国の指導では2020年までに働いた人が3年後まで毎年面接を受け、2023年に試験を受けるはず。綾町は。

町 試験なし。1年毎の更新あり。議員の誤解では。

議 給料、ボーナス、有給休暇も職員に準じるのにおかしい。

町 問題ない。

議 研修は。

町 特別な研修はないが、職員と一緒に接遇研修等を実施。

リハビリ施設は綾にはないのか

議 半身不随等で毎日近場でリハビリしたい場合、町内に施設は。

町 以前は綾外科があった。既存施設の積極的活用を啓発する。

議 送迎サービスは。

町 75歳以上はタクシー券、巡回バスを利用。

どうなる 古賀根橋ダムの浚渫

議 9月27日の県議、企業局、との会合にも町議も参加希望。

議 綾第二発電所の改修工事が着工。第2回説明会を綾町漁業組合、町議、県議、国富町漁業組合、町職員参加、興味のある方参加可能。昭和60～平成10年度間に、6万立方メートルを浚渫。現在通行止めの為、計画なし。企業局に改修工事期間中にと強く要望。

議 漁業組合が徳島県那賀町の施設見学に。綾と同様、ダムが複数有るが水が綺麗。浚渫は毎年、四国電力、国、県の事業で町には関係ない。宮崎県も年1回、せめて5年1回浚渫すればよかった。

議 9月27日に、毎年浚渫するよう要望提案する。



上野議員

農業・オーガニック給食・町長の任期

綾町の農業の未来は

議 綾町の基幹産業である農業の現状は。

町 令和4年度の統計で、耕地面積684ha、うち有機農業59ha。有機農業の占める割合は8.6%で全国10番目。農業従事者は令和2年度の統計で549人、平均年齢は61.1歳、65歳以上は52.3%。種や肥料に関しては業者からの購入で一部自家採種。遊休農地は、令和4年度で150ha。

議 国の「みどりの食料システム戦略」では2050年までに有機農業の耕作面積25%という目標を掲げている。達成に向けてどのように取り組むのか。

町 農地の集約を実施し、取り組んでいく。行政として様々な面でサポートしながら計画的にやっていく。

議 就労人口に関して、全国では2000年に389万人だったものが、2019年には168万人となり、平均年齢も66.8歳、65歳以上の占める割合が70.2%となっている。綾町では、全国平均と比較すると状況は良いが、10年後を考えると心配だ。オーガニックスクールを利用して新規就農者を増やしていくというが、それでは間に合わないのではないのか。

町 綾町の状況が良いのは、若手の育成が出来ること、他地域からの農業移住者がいることにも由来する。育成の支援を行い、農業従事者の人数や年齢の対策に繋げていく。

議 いま世界的に種の争奪戦は激化しており、日本は種の確保に後れを取っている。自家採種という手段もあるが、難しく、農家には大きな負担となる。種の生産に行政として乗り出すことは、今後の綾町にとって重要だと考えるが。

町 以前、種苗会社を訪問した際、種の生産が難しいことだと認識した。海外の種に大きく後れを取っている事実も理解している。その上で何が出来るのか考えたい。

議 野菜に関して自給率80%と言われているが、9割の種は海外からの輸入で、実際の自給率は10%にも満たない。国際的な競争力の低下する日本では、今後種の確保が出来なくなる。県内全域で種の確保を考え、情報発信していただきたい。

議 耕作放棄地は山から下りてきた有害鳥獣の中継地となり、被害を拡大している実態がある。草刈りをするだけでも対策となるが、持ち主に管理させるような条例の制定も含めて対応は出来ないのか。

町 放棄地の有効活用を含め、検討をしたい。

オーガニック給食実現に向けて

議 全国的にも大きな協議会が立ち上がり、国会議員の議員連盟も超党派で出来た。綾町では3月に全国で初めて条例が制定され注目が集まっている。存在感を示す良い機会だと考えるが。

町 昨年6月に「全国オーガニック給食協議会」が設立され、綾町も加盟している。昨年開催されたフォーラムにおいても綾町の取組みが紹介された。先進地として普及促進に貢献する役割を担っている。

町長選の時期と任期は

議 今回、統一地方選挙に合わせて、町長選も行われた。経費の節約が出来たことは評価できる。結果、現町長へと交代することになったが、前町長の任期が6月8日まであり、約1ヶ月半が無駄に感じてならなかった。この期間を解消する手立てはないのか。

町 任期は、前町長の権利であるから、剥奪することは出来ない。事前の準備が出来たことは、個人として有意義であったが、様々なところで対応に苦慮しているという話も聞いた。次回、同じようなことがあった場合、私は速やかに身を引きたい。

土地の相続登記は義務化に

議 平成28年度国土交通省の調べで、日本全土の約20%の土地が所有者不明となっている。綾町においての所有者不明の土地はどの程度あるのか。

町 令和5年度固定資産税課税通知書の返戻が25件あった。今回の法改正が所有者不明の土地の増加に一定の歯止めをかけるものと期待する。

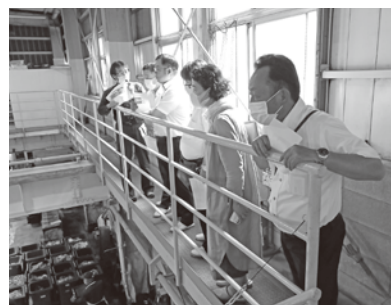
議 課税対象とならないような小さな土地は、そもそも課税通知書に載ってこない。役場では名寄せすれば分かると言うが、そもそも名寄せという行為自体も知らない者には、無理な話。亡くなった方がいたとき、その方の関係する土地すべてを通知するような仕組みについて検討いただきたい。

議会活動

総務常任委員会研修

令和5年9月27日～29日

千葉県幕張のイオン環境財団、神奈川県相模原市の日本フードエコロジーセンター、東京都銀座の宮崎日日新聞東京支社を訪問しました。イオン環境財団では10月7日のイオンの森育樹イベント直前の訪問ということで、交流を深めることが出来ました。日本フードエコロジーセンターでは、綾町の課題である堆肥や排せつ物などの処理について、一つの答えとも言える道筋が見えました。宮日新聞東京支社では、東京における綾町の立ち位置などについて、レクチャーいただきました。



参加しての感想

海江田議員

持続可能な社会に対応する事業をそれぞれの会社が行われています。イオン環境財団は綾町と連携し、植樹活動など里山づくりなどの地域貢献をされています。日本フードエコロジーセンターは、食品廃棄物を有効活用し(豚の飼料など)、バイオマス発電等持続可能な開発目標SDGsに取り組まれていることを学びました。

中神議員

イオン環境財団では植樹活動に長年取り組まれており、これから先も継続してもらう事により学校教育にも貢献されている。海外にも活動を広めており地球環境を守る取り組みに感激した。日本フードエコロジーセンターでは食品残渣を再利用したバイオマス発電を行い、災害時の支援や、豚の飼料製造にも取り組んでいる。今回学んだことをこれからの議員活動に生かしていきたい。

山田議員

綾中学校校舎立て替えのため、町有林の杉を伐採した跡地に、本来の里山を復元するため、2013年からイオン環境財団の支援のもと「綾町イオンの森」に21,750本の植樹が行われました。改めて御礼と今後、新たな森づくりの可能性が見いだされるか意見交換を行いました。綾町には老朽化した堆肥工場があり、今後、どのようにしていくのか検討されています。日本フードエコロジーセンターでは、現在綾町の抱えている課題を洗いだし、生ゴミを資源とする考えのもと、綾町らしい循環型社会を目指すヒントとなりました。

宮崎県町村議員大会

令和5年10月12日

川南町の文化ホールにて県内の町村議員大会が開催され、綾町議会からも10名全員の議員が参加しました。大会では、多岐に渡る決議案に加え、道州制の導入に反対する特別決議案も可決されました。また、議事の審議が終わった後には、テレビ番組等でも活躍されている、ルース・マリー・ジャーマンさんが、外国人の目線から見た、日本の良いところや日本人の改善すべき点について講演されました。



参加しての感想

外山議員

講演でインバウンドの話があった。外国人は空港まで来ている。その後の導線が問題と言われた。確かに綾までのバスの便は良くない。ただ綾のつり橋には日南油津港からクルーズ船の乗客がバスを連れてやってくる。そこでお金を落としてもらうよう、町民で意見を出し合い対策を練らなきゃ本当にもったいない。また、海外旅行をする外国人の心理や、日本人は英語の単語力、文法に自信を持ち、相づちに頼らず最後まで言い続けることを学んだ。

興梠議員

「道州制の導入に反対する特別決議」は曖昧な定義と動機から以前から疑問であり、新たな中央集権構造に繋がることの懸念から、採決されたことは良かった。講演もハワイ出身で35年も日本で活躍されているという演者であり新たな視点を得ることができた。相手の立場になって考えることの大切さを学ぶことができた。「個人的には親戚筋になる高千穂町議会議員(8期目の大ベテラン)にご挨拶ができ、交流の場にもなったことが有意義であった。」

監査委員研修報告

令和5年10月16日

宮崎県町村監査委員協議会ブロック別研修会が高原町「ほほえみ館」にて開催され綾町から郷田・橋本監査委員が出席。ブロックは、北諸県・西諸県・東諸県・児湯郡の9町1村からなる。

講師は県監査事務局の方で「監査の基本的な考え方」と「行政におけるリスク回避のための内部統制」について、県の具体的な取り組みが紹介された。市町村での内部統制の実施は努力義務とのことだが、業務処理の可視化のためには必要と感じた。



表紙について

10月7日(土)尾立地区にあるイオンの森で、枝打ちなどの育樹活動が行われました。イオングループの社員の方に加えて、町内外からたくさんの方のボランティアの参加もありました。作業で汗をかいた後には、猟友会の方々が準備いただいた猪汁や猪の炭火焼が振舞われ、綾の森の恵みに舌鼓を打っていました。



議会報編集委員会

10月4日(水)、10月5日(木)、
10月10日(火)、10月17日(火)

12月議会のお知らせ

12月議会は、12月上旬からの開催を予定しております。日程につきましては、町のホームページ等でお知らせいたします。ぜひ傍聴へお越しください。

編集後記

暑さに耐えた夏でした。

その暑さを残したまま9月定例議会に入り、21日間の審議を重ね終了しました。

議会が終わるとすぐに、議会報編集委員会が始まります。

町民のみなさまに分かりやすく、そして何をどうお伝えすべきか委員6名、思考錯誤しながら第188号を仕上げました。感想やご意見をぜひお寄せください。

季節の変わり目です。みなさま体調管理には十分ご留意ください。

議会報編集委員会一同

発行／宮崎県綾町議会

宮崎県東諸県郡綾町大字南俣 515 TEL:0985-77-2947

発行責任者／【綾町議会議長】松浦光宏

議会報編集委員会／【委員長】上野一八 【副委員長】興梶智一 【委員】橋本由里、外山ひろ子、中神智光、海江田和久